



あこう通信

「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を創ろう

～いい顔 いい声 いい心～



発行：令和7年10月29日（水）NO.22 文責：副校長 津田 幸一

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）

俳句の授業（10/9）



夏井カンパニーの家藤正人さんを招聘して、4年生以上を対象に俳句ゲームを実施しました。1人1句をつくって、俳句の世界を楽しみました。

出前授業（9/30：特活 10/9：国語）

9/30 ともみらい図書館長の加藤先生を招聘し、4の2で特別活動の授業。

10/9 筑波大学附属小の溝越先生を招聘し 6-1 国語科授業。

市内小学校からの参観も多くある中で、子供たちの輝く姿を披露できました。



小体会（10/13）



今年度から種目変更をしておの新しい大会となっています。練習の成果を発揮するとともに、他校選手との親睦を深めました。

<11月行事>

3日（月）	文化の日
4日（火）	11/8土曜授業代休日
5日（水）	全校集会
6日（木）	委員会活動
8日（土）	土曜授業・小櫛祭
12日（水）	アウトメディア週間（～18日） 6年生ブラッシング指導
13日（木）	全校13：40下校 4年生小音会 全児童：要弁当
19日（水）	児童集会 2年生親子レク
20日（木）	クラブ活動
21日（金）	3・4年生5校間授業
23日（日）	勤労感謝の日 稲佐山クリーン作戦
24日（月）	振替休日
26日（水）	3年生社会科見学※3年生弁当
27日（木）	委員会活動

つづけること

2年 〇〇〇〇

「ま、今日ぐらいいいわ。」と、かるい気持ち。
「なんとかなるわ。」と、また1日さぼって、
（ダメだなあ。）と、思いながらまたサボリ。
おさぼりのかけらがあつまって、大きな、大きなジグソーパズルが心の中で、できあがっていく。
でも、あと1まいというところで、パズルは完成しないんだ。
だって・・・。
「ちゃんとがんばっていた私はどこ？」と、はんせいするひとかけらと、「どうせこんなの明日したらいいの！」というひとかけらが、場所の取り合いをして、どっちが本物？どっちが私？と、ギューギュー、けんかして、やっぱりがんばりやさんが勝ったから。
楽をつみ重ねることは心の中は楽じゃない。
いつも落ちつかない。
こつこつしんどのをつみ重ねることは、つらいけれど、心は晴れ晴れしているのはなぜかな？
「つづける」ことは、かんたんそうで、すごくむずかしい。
時間があるし、力があるし、ゆう気もある。
だけど、つづけていたら、あとで百ばいうれしいことが返ってくる気がするよ。

（朝日読書感想文コンクール入選作）

『自分の中を見る目、聞く耳・・・』

人の目は前についています。自分以外のものが見えやすいようにについています。耳も、外の音や声を聞きやすいように、外に開いています。鼻も口も手もそうです。

自分の中は見えにくい目、自分の中の声は聞こえにくい耳、自分のにおいはわからない鼻、自分の味はわからない口・・・。

外のことばかりに関心が向くようにできているのが人間です。

だからこそ、自分自身をじっと見つめることは難しいのです。これに努めようという、心のありようが肝なのです。

さて、この作文を書いた子は、その大変難しい「自己凝視」ということを立派にやっています。「なんとかなるわ」という、軽い怠け・さぼり心の一片と、それではいけないという反省する心の一片の戦いを、客観的に見つめながら、「私って本当はどっちなのだろう」と問いかけています。

「続ける」ことの大変さを実感しながら、しかし、やっぱり自分の中の「がんばりやさん」と手を結んでいます。立派です！